

積極性、柔軟性をもって顧客ニーズに 応えるルーター加工のプロ集団

- 納期相談
- コスト相談
- オンリー技術
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット
- 量産対応



多種多様な薄板加工製品

【業務内容】 基板加工をはじめとする 薄板加工の技術パートナー

「クレバー産業」は「私たちは、独自の技術を追求しつづけ、良いものを作ります」を経営理念の1つに掲げる薄板の切削加工会社。医療機器や通信機器に組み込まれる厚さ0.1mm〜10mmの薄板を切削する。

当初は工業製品組立から始めたが、NC（数値制御）ルーター導入を機にプリント基板加工を本格化した。一時は基板への回路形成なども手がけていたが、その後切削に特化。現在は数百個単位の小ロット加工を得意とする。平成24年からは基板以外の薄板加工を始め、炭素繊維など新素材の加工にも挑戦している。

【強み】 取引先も驚く短納期対応

プリント基板の切削加工において短納期対応を得意とする。最短では朝9時に注文を受けて2時間半後には納品できる。新規の取引先からは「なぜそんなに早くできるのか」と驚かれるという。その秘訣を辰巳文吾社長は「案件ごとに工程をフレキシブルに対応しているから」とこともなげに話す。小規模で切削加工専門という業態に合わせて、大量生産するより少量多品種に対応できる設備を導入するとともに、IT活用でオペレーターが機械から離れず自由に加工データを扱えるよう改善を進めてきた。

【水展】 2つの加工分野で 相乗効果

現在、プリント基板と基板以外の各種薄板の2分野の加工を手がけている。それぞれ求められる要求をもう一方の加工に展開することで、取引先からの評判を高めること

に成功した。プリント基板加工では薄板加工で鍛えられた高さ精度や100分の数mm台の寸法精度を生かし、薄板加工ではプリント基板加工で求められる短納期や、品質管理の徹底などを意識している。

これにより、他社との差別化に大いに貢献することができた。既存取引先からの反応が良いだけでなく、評判を聞きつけた会社からも仕事が舞い込み、辰巳社長は「直近5年間で取引先件数が3倍に増えた」と喜ぶ。

【今後の展望】 ウェブサイトを活用し、 加工技術を発信

課題は薄板加工分野の強化だ。現在、熱可塑性樹脂や鉄、アルミニウムなどの切削を手がけているが、全体売上高に占める割合は5%で、平成24年に中小企業庁の「ものづくり補助金」を活用して導入した薄板加工機は加工に余力がある。

だが辰巳社長は炭素繊維や、樹脂と金属の複合材など新素材の加工が増えるだろうと予想している。そこでウェブサイト上に加工できる素材を掲載して、炭素繊維や異種複合材などの加工を増やす。これにより「2019年8月期における薄板加工の売上高を、2017年度比3倍の1,000万円以上にしたい」と意気込む。



薄板加工を支えるルーター加工機



ルーター加工機による作業風景

当社の歴史



大阪市平野区で創業しました。社名は父で創業者の辰巳憲賢（のりかた）の「賢」から「クレバー」と名付けたそうです。プリント基板をはじめとするあらゆる薄板の切削加工会社として、今後も誠意・責任感・向上心を持ち、積極的に活動する集団として、品質本位・お客様本位の姿勢で取り組みます。

代表取締役 辰巳 文吾さん

<http://www.clever-jp.com/>

主な事業内容

プリント基板、樹脂板、金属板の加工

主な取引先(納入先)

プリント基板メーカー、各種素材メーカー、部品メーカー

- 住所 〒579-8025 東大阪市 宝町15-10
- TEL 072-984-4627
- FAX 072-981-6536
- 創業 昭和53年5月
- 設立 昭和56年12月
- 資本金 1,000万円
- 従業員 11名